

# 広報たかなべ

2011. 9. 16 NO. 372

◆ 高鍋町町制施行110周年記念 ◆  
～ 特別号 ～



明治末期の小丸橋  
(写真提供：石井正敏氏)



現在の小丸大橋  
(平成二十三年八月三十一日撮影)





桑の苗を植えている山下節子さん  
(昭和45年当時)



大きな養蚕小屋が今でも山下さんの  
自宅横に残っている



宮崎県で初めて養蚕業専業農家となった  
毛作の山下光夫さん(83歳)と  
妻の節子さん(81歳)

# 第一章 明治時代

## ～ 養蚕業の盛んなまち 高鍋町 ～

昭和50年代まで続いた高鍋の養蚕業は、この時代に幕を開け、特に明治後期には目覚ましい発展を遂げています。中でも、明治44年に、高鍋製糸株式会社の生糸は、イタリア万国博覧会において金賞を受賞していて、当時の高鍋の製糸業がいかに高いレベルであったのかを知ることができます。

また明治44年には、孤児の父と呼ばれる石井十次が、高鍋製糸株式会社の社長となったことも興味深い話です。

養蚕業は、手間は必要でしたが短い飼育で多額の収入を得ることができ、当時の農家の家計を大いに潤し、大変魅力的なものとなっていたようです。

養蚕業と製糸業。これらの発展が、現在の高鍋町の産業発展につながったことは間違いのないのではないのでしょうか。

「おかいこさん」  
私が養蚕業を始めた昭和二十年代は、まち  
ば以外はだいたい蚕を飼っていました。も  
もと田や畑だったところにも桑の木が植えら  
れたようです。  
最初は、蚕だけではなく牛飼いや、田、畑と  
何でもやりました。その後、簿記を勉強して  
作業時間や収入など統計を取ってみたら、養  
蚕業が一番効率が良いことが分かり、これ一  
本で生活を始めました。専業の養蚕農家と  
なったのは、県内で私が初めてでした。  
出荷が近づいた時期は、人を雇っていまし  
たが本当に忙しく大変でした。ただ経済的な  
面では、生活はとても楽でした。  
面白いのは、高鍋では、昔から蚕のことを  
「おかいこさん」と呼び、人間よりも広くて  
いい家で飼われていたことですね。それだけ  
大事なものとして扱われていたのでしょう。

町制施行110周年を迎えたことを受け、  
これまでの歴史や文化を振り返ります。  
そして、高鍋町の魅力を再発見する  
契機とするため、現在の高鍋町が築かれ  
た礎をここで探ってみることにします。

### 高鍋町の人口の推移 (国勢調査：各10月1日現在)

年	人口			備考
	総数	男(人)	女(人)	
大9：1920 第1回国勢調査	12,336	5,969	6,367	高鍋町・上江村 の合計
昭5：1930 第3回国勢調査	13,812	6,649	7,163	高鍋町・上江村 の合計
昭15：1940 第5回国勢調査	14,434	6,931	7,503	合併後
昭25：1950 第7回国勢調査	20,106	9,652	10,454	
昭35：1960 第9回国勢調査	20,041	9,397	10,644	
昭45：1970 第11回国勢調査	19,777	9,488	10,289	
昭55：1980 第13回国勢調査	22,950	11,448	11,502	
平2：1990 第15回国勢調査	22,970	11,433	11,537	
平12：2000 第17回国勢調査	22,748	11,032	11,716	
平22：2010 第19回国勢調査	21,736	-	-	速報値

高鍋町は、明治三十四(一九〇一)年二月七日、当時の高鍋村(北高鍋村・南高鍋村・蚊口浦村・高鍋町)が町制を施行し、平成二十三年に一一〇周年を迎えました。この間、昭和十三(一九三八)年に高鍋町は上江村(上江村・持田村)と合併し、新高鍋町が誕生し、現在の高鍋町へと発展を続けてきました。

高鍋町は、持田古墳群からも分かるように古い歴史を持つ町です。古くは、財部(たからべ)と称し、土持氏、伊東氏、島津氏を経て、秋月氏の時代に高鍋と改めました。

秋月氏の藩政には、教育、産業、福祉にわたり高鍋の基礎を築いたすばらしい施策が数多く見られます。中でも、上杉鷹山の兄である第七代藩主秋月種茂が創設した藩校「明倫堂」からは、多くの逸材を輩出しています。この藩校「明倫堂」が築いた文教の伝統は、この町で今もお脈々と生き続けています。

## 特集

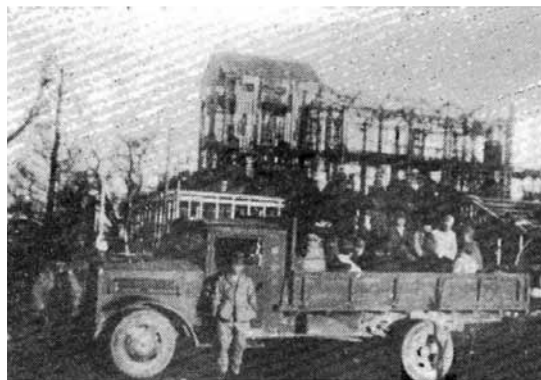
# 高鍋町町制施行一一〇周年

### 高鍋町のあゆみ

※「高鍋町史」・「高鍋町一〇〇年のあゆみ」・「広報たかなべ」より抜粋

- 明治三四年(一九〇一) 2・7 高鍋村、町制を施行(初代町長 久保昌業)
- 明治四二年(一九〇九) 12・13 石井十次、高鍋上江の合併を両町村に提議
- 明治四三年(一九一〇) 1・6 高鍋町・上江村発展策協議会(合併問題協議会)
- 1・7 石井十次の高鍋上江合併提議を高鍋町有志大会は研究課題とする
- 明治四四年(一九一一) 4・21 高鍋郵便局にて電話及び託送電報事務開始
- 12・8 小丸川仮橋、人馬の通行開始
- 大正元年(一九一二) 高鍋製糸株式会社出品生糸 イタリア万国博覧会にて金賞
- 4・10 高鍋町立実科高等女学校、高鍋小学校内に開校
- 大正三年(一九一四) 町内5カ所に街灯つく
- 大正四年(一九一五) 高鍋方面の電灯点灯式
- 大正七年(一九一八) 郡立農業学校に移管、宮崎県立高鍋農学校と改称
- 大正八年(一九一九) 高鍋農学校より旧明倫堂図書を高鍋小学校に移し、高鍋図書館とする
- 大正九年(一九二〇) 県営自動車営業開始、高鍋延岡間ほか日豊線古港の鉄橋竣工
- 7・1 高鍋駅にて日豊線福島高鍋間開通式
- 9・12 秋月左都夫宅にて上江高鍋合併問題協議
- 10・1 第一回国勢調査(高鍋・上江合計人口 一一一、三三六)
- 大正一〇年(一九二一) 日豊線、高鍋美々津間運転開始
- 6・11 東尾湯各町村協議の上、中学校設立を決議
- 8・24 春、小丸川鉄橋完成
- 大正一一年(一九二二) 県立高鍋中学校設立速成同盟会創立総会
- 4・3 町立高鍋図書館の設立、県知事より認可
- 3・19 都農高鍋間・都農美々津間に公衆電話開設
- 大正一二年(一九二三) 財団法人高鍋中学校開校式
- 大正一三年(一九二四) 町立高鍋実科高等女学校を宮崎県高鍋高等女学校と改称
- 4・14 高鍋に全国最初の乾繭農業倉庫竣工
- 大正一五年(一九二六) 高鍋に全国最初の乾繭農業倉庫竣工
- 3・30 児湯郡役所廃止
- 昭和三年(一九二八) 高鍋鉄道(高鍋木城間) 起工式
- 2・28 高鍋町営職業紹介所開設
- 4・2 高鍋町・上江村合併し高鍋町を設置、役場を大字高鍋町七〇五(上町)に置く
- 10・1 高鍋町・上江村合併し高鍋町を設置、役場を大字高鍋町七〇五(上町)に置く
- 昭和一三年(一九三八) 高鍋町営職業紹介所開設
- 4・2 高鍋町・上江村合併し高鍋町を設置、役場を大字高鍋町七〇五(上町)に置く
- 昭和一四年(一九三九) 町立職業紹介所廃止、十九日国営高鍋職業紹介所設置
- 11・18 町立職業紹介所廃止、十九日国営高鍋職業紹介所設置
- 昭和一五年(一九四〇) 舞鶴城址、風致地区指定
- 11・10 町営魚菜市場設置決まる
- 昭和一七年(一九四二) 舞鶴城址、風致地区指定
- 8・7 舞鶴城址、風致地区指定
- 昭和一八年(一九四三) 町立職業紹介所廃止、十九日国営高鍋職業紹介所設置
- 10・30 町役場庁舎、大字上江二〇七移転きまる
- 昭和二〇年(一九四五) 米軍艦載機(グラマン)編隊による県下初空襲
- 3・18 ほとんど連日空襲、高鍋駅・小丸川鉄橋・鉄興社・アルコール工場およびこれらの周辺特に蚊口地区の被害甚大
- 6・末 ほとんど連日空襲、高鍋駅・小丸川鉄橋・鉄興社・アルコール工場およびこれらの周辺特に蚊口地区の被害甚大
- 昭和二一年(一九四六) 7・8月 高鍋上空銃撃 被害甚大
- 1・13 進駐軍 公立機関・学校並びにその敷地の神社神棚の除去・民間所有の刀剣類引き渡し・武技具の焼却を一週間以内に実施するよう指示
- 昭和二二年(一九四七) 4・1 高鍋国民学校を高鍋東小学校、上江国民学校を高鍋西小学校と改称
- 昭和二三年(一九四八) 4・1 高鍋町立東・西中学校開校式
- 3・20 高鍋町立東・西中学校開校式
- 昭和二四年(一九四九) 4・1 高鍋町立東・西中学校開校式
- 3・20 高鍋町立東・西中学校開校式
- 昭和二五年(一九五〇) 4・1 高鍋町立東・西中学校開校式
- 3・20 高鍋町立東・西中学校開校式
- 昭和二七年(一九五二) 1・9 NHK、テレビを県下初公開
- 11・9 上江保育園設立、九月五日開園式
- 11・11 宝酒造株式会社高鍋工場操業開始
- 12・24 高鍋町教育委員会発足
- 12・24 南九州化学工業株式会社設立





鉄骨だけ焼け残ったアルコール工場  
(写真は高鍋町史より転載)

# 第三章 昭和時代

～ 戦争経験をバネに復興～

太平洋戦争は、わが町にも多くの惨劇をもたらしました。戦争が長期化し、戦域が拡大するに従って国家総力戦になり、高鍋町でも本土防衛のための軍事訓練や勤労働員の徹底命令による学徒動員が行われました。また、戦時下食糧増産対策協議会を開き、生産増強にも努めました。しかし…

昭和20年8月15日、終戦。大いなる悲しみや悔しさ、辛さの中でまちの復興を目指した私たちの親、祖父母、祖父父母たち。彼らの強い意志と優しさは、今生きる私たちを包み、育て、現在の高鍋町へと導いてくれているような気がします。



自宅を襲った爆弾の破片と鉄砲の弾を手にする  
大山満郎さん(84歳 蚊口西の一)  
印は、爆風で飛ばされた大石が屋根を突き破り、落ちた場所

昭和二十年の初空襲以降の高鍋は、多くの大空襲に見舞われました。特に蚊口地区は、新田原飛行場の軍事物資集積場となっていた高鍋駅、鉄鋼社やアルコール工場など主要な軍需施設があったこともあり、ほかの地域に比べて、米艦載機グラマンやB29が連日わたる猛烈な機銃攻撃を行い、惨状が広がっていきました。駅前直徑五メートルぐらいのすり鉢型の大穴が開いたこともあり、また、悲しいことに犠牲者もどんどん増えていきました。

ある銃撃後に、私が見た情景です。  
：うちの前につないであった馬の太もも辺りに大きな穴が開き、前足をじたばたさせている。近くには爆風で洋服がはがれたであろう女性が全裸で倒れていて、体は紫色で膨れ、呻き声をあげている。  
その女性は、医者に連れていく道中で残念ながら息絶えました。  
このような惨劇を二度と繰り返さないためにも、戦争について後世に語り継いでいく必要性を私は強く感じています。

## 『惨劇でした…』



竹嶋公民館前にある「開田記念碑」。開田の輝かしい実績と事業功労者の名を後世にまで語り伝えるために建てられたという

# 第二章 大正時代

～ 苦労に苦労を重ねた開墾時代～

宮崎県は明治36年以降、県内移民誘致策として県内入植地の紹介に努めました。これを受け、大正期の高鍋には、竹嶋、新山、市の山、中尾、牛牧などに九州各県をはじめ、四国や中国地方などの各地から多くの入植者があつたようです。

当時の入植者は、竹や松、杉などが多い原野を多くの労力をかけて開墾していきましたが、当初は、干ばつや病害虫被害もあり、なかなか思うように収穫量は増えなかったようです。

そんな厳しい条件の中でも開墾を推し進め、現在の肥よくな田畑を作った入植者。その努力が、現在の高鍋町の農業を支える土台となっていることは確かです。



「南牛牧の人はみんな開拓者。苦労を共にした仲間。だからこそ仲がいい」と笑顔で話す森光三男(かずお)さん(82歳)と妻の敬子さん(80歳)

「鍬(くわ)一本でよく働いた」  
うちはもともと四国出身で、佐土原を経て父母の代に牛牧に来ました。次男坊だった私は、復員後の昭和二十二年にここに入りましは、全部で三十三人。みんな若くて元気が良かったのですが、杉や松の藪原には本当に苦勞しました。  
でも、ここでやるしかないという気持ちで妻と鍬一本で開墾し、畑を一反・二反というふうに加えていきました。自分でも本当によく働いたと感心します。  
家はもちろんかやぶき屋根。食べ物はない、電気もない。それに加え、寒い。こんな暮らしだったので子育てにも苦勞しましたね。当時は収入が少なかつたため、十五年ぐらいは出稼ぎに行きました。  
今の楽しみは、妻や家族とゆっくり過ごすこと。周りが仲が良く、にぎやかなのがとても嬉しいです。

- |              |                               |              |                     |
|--------------|-------------------------------|--------------|---------------------|
| 昭和二年(一九一七)   | 南九州大学(園芸学部園芸学科・造園学科)認可、四月一日開学 | 昭和二年(一九一七)   | 高鍋町火葬場設置            |
| 昭和三年(一九一八)   | 甘木市と高鍋町の姉妹都市盟約式               | 昭和三年(一九一八)   | 高鍋防炎ダム竣工            |
| 昭和四年(一九一九)   | 高鍋町火葬場設置                      | 昭和四年(一九一九)   | 小丸川河口から海水浴場までの防潮堤完成 |
| 昭和五年(一九二〇)   | 東児湯消防組合設立                     | 昭和五年(一九二〇)   | 高鍋町体育館完成            |
| 昭和六年(一九二一)   | 高鍋高校、全国高校ラグビー大会(大阪花園)初出場      | 昭和五年(一九二〇)   | 高鍋町スポーツ少年団結成        |
| 昭和七年(一九二二)   | 持田保育園完成                       | 昭和六年(一九二一)   | 高鍋町水道通水式(一、五〇〇戸)    |
| 昭和八年(一九二三)   | 天皇・皇后両陛下、宮崎県農業大学校視察           | 昭和六年(一九二一)   | 高鍋町体育館完成            |
| 昭和九年(一九二四)   | 西都児湯環境整備事務組合設置                | 昭和七年(一九二二)   | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和十年(一九二五)   | 第一回自治公民館大会                    | 昭和八年(一九二三)   | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和十一年(一九二六)  | 「しんきん通」完成                     | 昭和九年(一九二四)   | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和十二年(一九二七)  | 町役場庁舎落成式                      | 昭和十年(一九二五)   | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和十三年(一九二八)  | 国体炬火リレー                       | 昭和十一年(一九二六)  | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和十四年(一九二九)  | 町営野球場にて国体高校野球(硬式)大会開会式        | 昭和十二年(一九二七)  | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和十五年(一九三〇)  | 竹嶋浄水場通水式                      | 昭和十三年(一九二八)  | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和十六年(一九三一)  | 米沢市と姉妹都市盟約締結                  | 昭和十四年(一九二九)  | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和十七年(一九三二)  | 勤労者体育センター完成                   | 昭和十五年(一九三〇)  | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和十八年(一九三三)  | 小丸大橋歩道完成                      | 昭和十六年(一九三一)  | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和十九年(一九三四)  | 高鍋町中央公民館老人福祉センター完成            | 昭和十七年(一九三二)  | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和二十年(一九三五)  | 高鍋・木城衛生センター完成                 | 昭和十八年(一九三三)  | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和二十一年(一九三六) | 高鍋町歴史総合資料館オープン                | 昭和十九年(一九三四)  | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和二十二年(一九三七) | 時間旅行日本一を目指しての時計台設置            | 昭和二十年(一九三五)  | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和二十三年(一九三八) | 高鍋町史発行                        | 昭和二十一年(一九三六) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和二十八年(一九五三) | 高鍋農業高校独立開校式並びに校舎落成式           | 昭和二十二年(一九三七) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和二十九年(一九五四) | 高鍋町社会福祉協議会設立                  | 昭和二十三年(一九三八) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和三十年(一九五五)  | 高鍋町養老院竣工落成                    | 昭和二十四年(一九三九) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和三十一年(一九五六) | 鈴木馬左也別宅町有となる                  | 昭和二十五年(一九四〇) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和三十二年(一九五七) | 高鍋高校、本県初の甲子園出場決定              | 昭和二十六年(一九四一) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和三十三年(一九五八) | 高鍋町図書館開館式                     | 昭和二十七年(一九四二) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和三十四年(一九五九) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和二十八年(一九四三) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和三十五年(一九六〇) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和二十九年(一九四四) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和三十六年(一九六一) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和三十年(一九四五)  | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和三十七年(一九六二) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和三十一年(一九六六) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和三十八年(一九六三) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和三十二年(一九六七) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和三十九年(一九六四) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和三十三年(一九六八) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和四十年(一九六五)  | 高鍋町野球場完成                      | 昭和三十四年(一九六九) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和四十一年(一九六六) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和三十五年(一九七〇) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和四十二年(一九六七) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和三十六年(一九七一) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和四十三年(一九六八) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和三十七年(一九七二) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和四十四年(一九六九) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和三十八年(一九七三) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和四十五年(一九七〇) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和三十九年(一九七四) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和四十六年(一九七一) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和四十年(一九七五)  | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和四十七年(一九七二) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和四十一年(一九七六) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和四十八年(一九七三) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和四十二年(一九七七) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和四十九年(一九七四) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和四十三年(一九七八) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和五十年(一九七五)  | 高鍋町野球場完成                      | 昭和四十四年(一九七九) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和五十一年(一九七六) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和四十五年(一九八〇) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和五十二年(一九七七) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和四十六年(一九八一) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和五十三年(一九七八) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和四十七年(一九八二) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和五十四年(一九七九) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和四十八年(一九八三) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和五十五年(一九八〇) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和四十九年(一九八四) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和五十六年(一九八一) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和五十年(一九八五)  | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和五十七年(一九八二) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和五十一年(一九八六) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和五十八年(一九八三) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和五十二年(一九八七) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和五十九年(一九八四) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和五十三年(一九八八) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和六十年(一九八五)  | 高鍋町野球場完成                      | 昭和五十四年(一九九〇) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和六十一年(一九八六) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和五十五年(一九九一) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和六十二年(一九八七) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和五十六年(一九九二) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和六十三年(一九八八) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和五十七年(一九九三) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和六十四年(一九八九) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和五十八年(一九九四) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和六十五年(一九九〇) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和五十九年(一九九五) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和六十六年(一九九一) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和六十年(一九九六)  | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和六十七年(一九九二) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和六十一年(一九九七) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和六十八年(一九九三) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和六十二年(一九九八) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和六十九年(一九九四) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和六十三年(一九九九) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和七十年(一九九五)  | 高鍋町野球場完成                      | 昭和七十年(一九九五)  | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和七十一年(一九九六) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和七十一年(一九九六) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和七十二年(一九九七) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和七十二年(一九九七) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和七十三年(一九九八) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和七十三年(一九九八) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和七十四年(一九九九) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和七十四年(一九九九) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和七十五年(二〇〇〇) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和七十五年(二〇〇〇) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和七十六年(二〇〇一) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和七十六年(二〇〇一) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和七十七年(二〇〇二) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和七十七年(二〇〇二) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和七十八年(二〇〇三) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和七十八年(二〇〇三) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和七十九年(二〇〇四) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和七十九年(二〇〇四) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和八十年(二〇〇五)  | 高鍋町野球場完成                      | 昭和八十年(二〇〇五)  | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和八十一年(二〇〇六) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和八十一年(二〇〇六) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和八十二年(二〇〇七) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和八十二年(二〇〇七) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和八十三年(二〇〇八) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和八十三年(二〇〇八) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和八十四年(二〇〇九) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和八十四年(二〇〇九) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和八十五年(二〇一〇) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和八十五年(二〇一〇) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和八十六年(二〇一一) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和八十六年(二〇一一) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和八十七年(二〇一二) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和八十七年(二〇一二) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和八十八年(二〇一三) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和八十八年(二〇一三) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和八十九年(二〇一四) | 高鍋町野球場完成                      | 昭和八十九年(二〇一四) | 高鍋町少年団結成            |
| 昭和九十年(二〇一五)  | 高鍋町野球場完成                      | 昭和九十年(二〇一五)  | 高鍋町少年団結成            |



### 高鍋町町制施行110周年を迎えて

高鍋町は、明治34（1901）年の町制施行以来、110周年を迎えました。昭和13（1938）年に旧高鍋町と上江村が合併し、人口13,962人で現在の町域となつてから、「歴史と文教のまち」として、また、児湯郡の中核的なまちとして、着実に発展してまいりました。こうした発展の中で、めでたく110周年を迎えられたのも、町民の皆様お一人、お一人のご尽力の賜と、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げる次第でございます。



高鍋町長 小澤 浩一

さて、最近の10年間を振り返りますと、2008年秋の世界同時不況で情勢が一変したと認識しております。高鍋町においても、相次ぐ企業や商店の撤退、南九州大学の移転、また、昨年の口蹄疫や今年に入ってから鳥インフルエンザ、新燃岳の噴火、東日本大震災など何かと暗い話題が多い10年でありました。

明るい話題といたしましては、昨年7月に、東九州自動車道の高鍋インターチェンジが開通し、今後の地域の発展の大きな原動力となるものと期待をしているところでございます。

そのような状況の中、社会経済情勢の変化に対応したスリムで効率的な自治体を目指し、機構改革の実施や行財政改革の取り組みを実施してきたところでございます。

また、平成22年3月に平成28年度を目標年度とした、本町の町政運営の基本となる「高鍋町総合計画」を策定したところでございます。その基本構想で、高鍋町の将来像として「住民参画による快適で美しいまちたかなべ〜子どもがにぎわうまちづくり〜」を掲げ、若い人のみならず誰もが住みたいと思える元気で活力のあるまちづくりを全力をあげて推進していく所存でございます。

その実現のためには、町づくりへの町民の皆様方の積極的な参加や、行政と住民団体やNPO法人、民間企業などとの協働が不可欠でございます。今後の本町のさらなる発展のため、町民の皆様方のお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 高鍋町町制施行110周年記念行事

#### ①航空自衛隊西部航空音楽隊による音楽演奏会

▲と き 9月29日（木）午後7時から（開場：午後6時）

#### ②記念式典（第45回「町民の日」記念式典・第44回高鍋町社会福祉大会）

▲と き 10月1日（土）午前9時から（開場：午前8時）

#### ③講演会

▲と き 10月1日（土）記念式典閉式後 ▲講師 ルー大柴氏  
▲演 題 「人生マウンテン（山）ありバレー（谷）あり」

※①～③とも、高鍋町中央公民館ホールにて開催し、入場料は無料です。なお、整理券の発行は行いません。満席になり次第入場を制限させていただく場合がありますので、ご了承ください。

#### ④宝くじふるさとワクワク劇場inたかなべ

※詳細は、11ページをご覧ください。



### ～ 畑田土地区画整理事業 ～

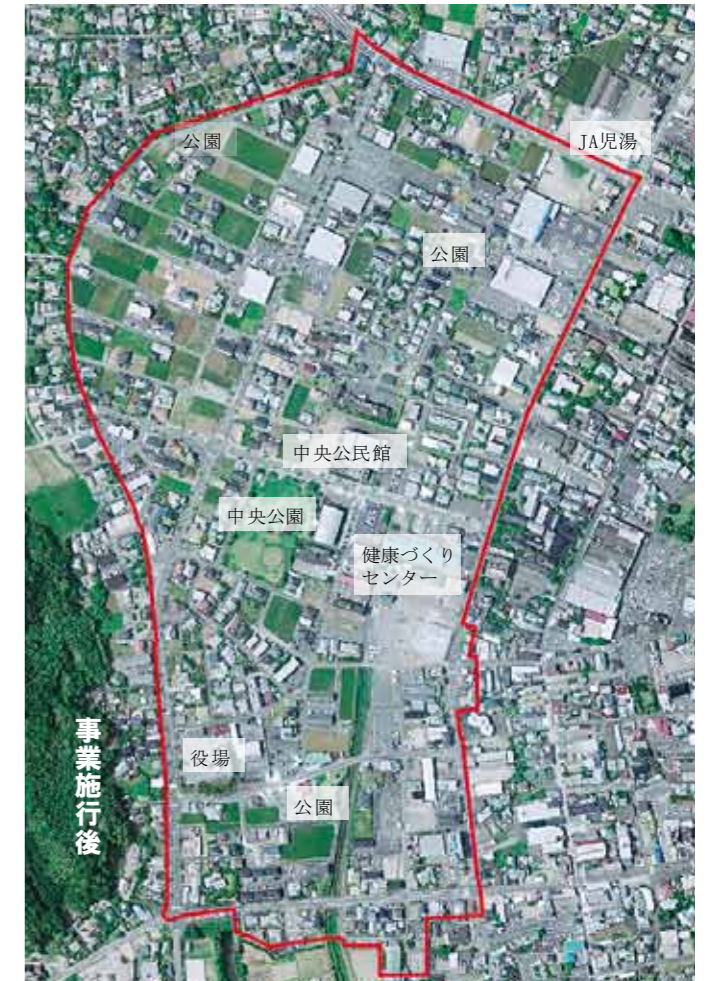
高鍋町が約20年の歳月と約61億円の事業費をかけたこの事業は、中央公民館を中心とする地域を行政・業務の核、良好な住宅地の供給地とし、望ましい市街地を誘導・促進することを目的に行われ、現在は明るい市街地へと生まれ変わっています。



事業施行前

### 第四章

# 平成時代



事業施行後

石井正敏さん(後)のお父さんの小学校卒業証書(右)



この時代から一〇年。家族制度や生活スタイルなど多くが変わり、暮らしは豊かになりました。しかし、高鍋町にはまだまだ発展し続ける力があるはず。今に生きる私たちは、先人に習い、このまちに誇りを持ちながら元気に暮らすことができるよう、民と官での協働のもとにその力を十分に発揮していきたいものです。

### 【取材を終えて】

上の卒業証書は、高鍋町が町制を施行した明治三十四年のもので、「土族」という文字が見えます。明治後期であるのに、まだまだ身分制度が残っていたことがうかがえます。

昭和六三年(一九八八)	11・16	畑田土地区画整理事業着工
平成元年(一九八九)	1・31	東九州自動車道基本計画路線決定
平成二年(一九九〇)	2・3	役場事務の電算化
平成三年(一九九一)	4・2	防災行政無線局開局
平成四年(一九九二)	8・10	高鍋リゾート計画発表
平成五年(一九九三)	11・30	全国高校総体パドミントン大会開催
平成六年(一九九四)	7・1	高鍋リゾート計画凍結
平成七年(一九九五)	3・28	公共下水道事業スタート
平成八年(一九九六)	4・10	一般廃棄物最終処分場完成
平成九年(一九九七)	11・10	ねんりんピック96 太極拳交流大会
平成一〇年(一九九八)	4・24	高鍋町スポーツセンター完成
平成一一年(一九九九)	6・6	高鍋温泉オープン(簡易温泉)
平成一二年(二〇〇〇)	6・26	高鍋温泉掘削工事製鋼、温泉湧出
平成一三年(二〇〇一)	11・3	高鍋町美術館開館
平成一四年(二〇〇二)	5・1	高鍋総合交流ターミナル「めいりんの湯」オープン
平成一五年(二〇〇三)	9・29	第一回舞鶴城灯籠まつり開催
平成一六年(二〇〇四)	6・7	高鍋・木城・川南三町任意合併協議会立ち上げ
平成一七年(二〇〇五)	9・2	三町任意合併協議会に都農町が加わり、四町でスタート
平成一八年(二〇〇六)	3・31	町立養護老人ホーム「寿昌園」開園
平成一九年(二〇〇七)	7・1	小丸大橋開通式
平成二〇年(二〇〇八)	12・11	東児湯消防組合、新庁舎での業務開始
平成二一年(二〇〇九)	11・4	合併特例法に基づく東児湯四町法定協議会立ち上げ決定
平成二二年(二〇一〇)	7・5	高鍋町健康づくりセンターオープン
平成二三年(二〇一一)	6・1	高鍋町健康づくりセンタープールオープン
平成二四年(二〇一二)	7・16	東児湯法定協議会解散
平成二五年(二〇一三)	10・2	西都児湯クリーンセンター竣工「ゴミ分別方法新しく今年から「舞鶴城灯籠まつり」が「高鍋城灯籠まつり」へと呼称変更して開催
平成二六年(二〇一四)	2・15	高鍋町健康づくりセンタープールオープン
平成二七年(二〇一五)	7・1	高鍋町健康づくりセンタープールオープン
平成二八年(二〇一六)	7・3	南町保育園、民間移譲へ
平成二九年(二〇一七)	3・21	姉妹都市福岡県甘木市が市町村合併に伴い朝倉市へこれに伴い改めて「朝倉市」と姉妹都市盟約を締結
平成三〇年(二〇一八)	9・1	南九州大学高鍋キャンパスの存続を求める総決起集会
平成三一年(二〇一九)	4・3	蚊口保育園、閉園
平成三二年(二〇二〇)	10・1	南九州大学高鍋キャンパスの存続を求める会解散
平成三三年(二〇二一)	4・31	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成三四年(二〇二二)	5・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成三五年(二〇二三)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成三六年(二〇二四)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成三七年(二〇二五)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成三八年(二〇二六)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成三九年(二〇二七)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成四〇年(二〇二八)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成四一年(二〇二九)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成四二年(二〇三〇)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成四三年(二〇三一)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成四四年(二〇三二)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成四五年(二〇三三)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成四六年(二〇三四)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成四七年(二〇三五)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成四八年(二〇三六)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成四九年(二〇三七)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成五〇年(二〇三八)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成五一年(二〇三九)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成五二年(二〇四〇)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成五三年(二〇四一)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成五四年(二〇四二)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成五五年(二〇四三)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成五六年(二〇四四)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成五七年(二〇四五)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成五八年(二〇四六)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成五九年(二〇四七)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成六〇年(二〇四八)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成六一年(二〇四九)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成六二年(二〇五〇)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成六三年(二〇五一)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成六四年(二〇五二)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成六五年(二〇五三)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成六六年(二〇五四)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成六七年(二〇五五)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成六八年(二〇五六)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成六九年(二〇五七)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成七〇年(二〇五八)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成七一年(二〇五九)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成七二年(二〇六〇)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成七三年(二〇六一)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成七四年(二〇六二)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成七五年(二〇六三)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成七六年(二〇六四)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成七七年(二〇六五)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成七八年(二〇六六)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成七九年(二〇六七)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成八〇年(二〇六八)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成八一年(二〇六九)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成八二年(二〇七〇)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成八三年(二〇七一)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成八四年(二〇七二)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成八五年(二〇七三)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成八六年(二〇七四)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成八七年(二〇七五)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成八八年(二〇七六)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成八九年(二〇七七)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成九〇年(二〇七八)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成九一年(二〇七九)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成九二年(二〇八〇)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成九三年(二〇八一)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成九四年(二〇八二)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成九五年(二〇八三)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成九六年(二〇八四)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成九七年(二〇八五)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成九八年(二〇八六)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成九九年(二〇八七)	12・10	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン
平成一〇〇年(二〇八八)	5・3	高鍋町持田地区高齢者福祉センターオープン



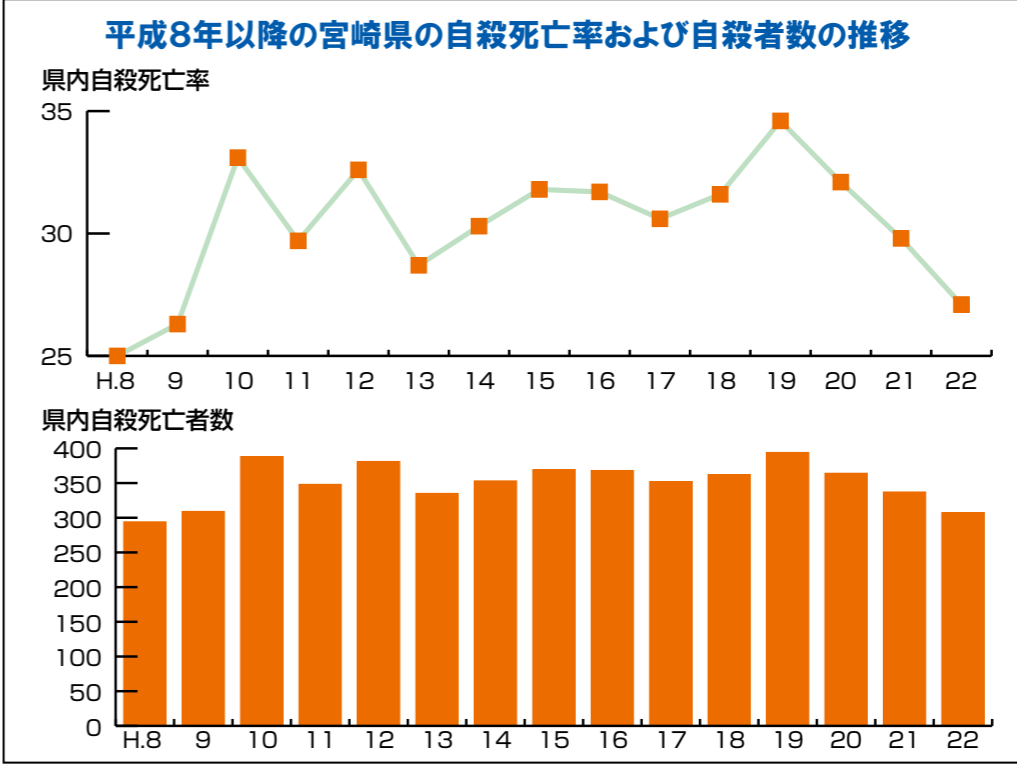
# 感じてください 心のサイン

私たちは、身体の健康には気を配っても、心の健康状態の変化には自分も周りもなかなか気が付かないものです。大切な命を失う前に私たちにできることを考えてみませんか。

## 現状

我が国の年間の自殺者数は、平成十年より十三年連続して三万人を超える厳しい状況が続いています。このようなどから政府は、毎年、世界自殺予防デーにあたる九月十日からの一週間（十六日まで）を「自殺予防週間」として、例年自殺者数が多い三月を「自殺対策強化月間」として集中的に啓発活動を実施しています。

私たちが住む宮崎県の自殺者数は、平成九年に年間三百人を超え、平成十年以降はおおむね三百人後半で推移していましたが、平成二十二年は、三百七人となっています。しかし、人口十万人あたりの自殺者数（自殺死亡率）は、全国平均を大幅に超えている状況で、全国でも自殺死亡率の高い県となっています。



## 自殺の原因は？

自殺で命を落とした人の多くが、仕事や収入、身体の病気や介護、育児などさまざまな悩みからくるうつ病を抱えていたといわれています。では、うつ病とはどんな病気なのでしょうか。

## 「うつ病」って？

「うつ病」とは、気分がひどく落ち込んだり、何ごとにも興味が持てなくなる状態が長く続き、日常生活に支障が出るようになった状態をいい、誰もがかかる可能性がある病気です。うつ病になりやすい人は、真面目で責任感が強く、周囲への気配りができ、きちんとやり遂げようと頑張る人だといわれています。特に働き盛りの四十代から六十代は強いストレスを受ける場面が多く、注意が必要です。これに加え、最近では、人との関わりが苦手な二十代から三十代の若い人も増えてきているようです。

## 「うつ病」の症状とは？

個人差がありますが、次のような症状が二週間以上続いており、生活に支障が出ます。

### 【身体的症状】

眠れない／疲れやだるさ／首や肩の凝り／頭が痛い・重い／食欲がない／体重が減る など

### 【精神的症状】

意欲や興味がわかない／充実感がない／いつも不安／楽しくない／役に立たないと思う／仕事がかたどらない／死について考える など

もし、いくつか当てはまった場合は、それは心が発するサインなのかもしれません。このサインを、自分はもちろん、周りの人も気づき、感じる事が大切です。

## つなぎ、支える



うつ病は、早期に気付き、正しい治療を行えば治ります。周りの人の場合は、まずは話を聴いてあげましょう。そしてできるだけそばにいてあげましょう。大切な命を守るため、一人で抱え込まず、まずは専門機関に相談してみてください。（相談機関等は左のページ）

# 「地域がつながる」を目指して

～高鍋町内での取り組み～



8月6日（土）高鍋町美術館において、高鍋町は「高鍋町こころのフォーラム」を行いました。

まず、NPO法人自死遺族支援ネットワークRe代表で自身も父を自殺で亡くした山口和浩氏が、自殺を取り巻く状況や遺族支援についての講演を行いました。

その後の「地域がつながる」をキーワードにしたパネルディスカッションでは、町内在住者の専門家など4人のパネラーがそれぞれの立場からの経験や課題を語り、今後の支援について意見の交換を行いました。

また、コーディネーターを務めたいりり端会会長でたかなべまちの駅連絡協議会会長の石田喜克さんは『「高鍋はみんなの居場所（いい場所）」になれるよう、町内に47カ所あるまちの駅を気軽に利用してください」と話し、地域がつながる手だてを示しました。

高鍋町では今後も、自殺防止に向けた取り組みを行っていきます。皆さんも一緒に考えてみませんか。



高鍋町では、毎月第3火曜日午後7時から、中鶴にある「野の花館」で「いりり端会」を開いています。

「いりり端会」とは、平成21年度に高鍋町で開催した「みんなの町をつくらうフォーラム」をきっかけに発足した有志の会です。自分の町について考えることはもちろん、自殺防止の目的も加え、自由にいろいろな話題について語り合っています。

「自分一人ではない、話ができる、人がつながる」そんな雰囲気を感じてみませんか。



臨床心理士 富田 あや子 氏

いりり端会には、安心して話せる雰囲気があります。一緒に話をしてみませんか。

私もつなごうがせてあげたいです

## 私を感じる「心のサイン」とは…



精神科医師 小川 泰洋 氏

このことは、自分でもとても分かりやすいサインです。いつもと違うなど感じたなら、専門家へ相談してみましょう。

眠れない…



NPO法人 みんなのくらしターミナル代表 初鹿野 聡 氏

自殺の前は、落ち込んで静かなときばかりではありません。こんなときも注意が必要です。「私が見ているよ」ということを伝えてください。

ハイテンションになったとき

## 【こころの相談窓口】

相談機関	電話番号	受付時間
こころの電話 (宮崎県精神保健福祉連絡協議会)	0985-32-5566	月曜日～金曜日(祝祭日休) 午前9時～午後7時
自殺防止電話「ライフネット宮崎」 (宮崎県)	0985-28-2555	月・火・木・土曜日 午後7時～11時
自殺防止電話相談 (NPO法人国際ピアレンダーズ宮崎自殺防止センター)	0985-77-9090	日・水・金曜日 午後8時～11時
高鍋保健所(事前予約制) (宮崎県)	22-1330	毎月第4水曜日 午後2時～4時
高鍋町健康づくりセンター (高鍋町)	23-2323	毎月第2水曜日 午前9時～午後4時

◎宮崎県民向け情報サイトのご案内  
さまざまな悩みや心配事があったり、疲れたなと思ったとき、ちょっとのぞいてみませんか。  
みやざきこころ青Tねっと(<http://www.m-aot.net/web/pc/index.php>)

## 【取材を終えて】

「最近調子はどんげねー?」「何かあったとねー?」この一言で気持ちになる人が周りにいるかもしれせん。私たちが身近にできるこんな声かけ。ちょっとしたことかもしれないが、一つの大切な命を守るための大きな力になると信じます。「私たちはつながっている」…そう感じることが出来る高鍋でありたいものです。



高鍋町は、高鍋藩秋月氏の縁で、福岡県朝倉市・串間市・山形県米沢市と姉妹都市の盟約を結んでいます。このことにより、今年の夏、町内の小中学生も活発に交流を行いましたので、その活動を紹介します。

7月21日～24日

米沢市・高鍋町少年少女交流事業



送別会で高鍋の児童は「南中ソーラン節」を披露



サーフィンや水上スキー体験「海は最高！」



歓迎会では手づくりの名刺を交換。やはり緊張...



送別会で米沢の児童は「花笠音頭」を披露



冷汁を味わいながらの楽しい食事



高鍋の参加児童の家に楽しいホームステイ

この事業は、東西小学校の小学生十人と米沢市の小学生十人とがそれぞれの地を隔年ごとに訪問し、相互理解を深めるとともに、姉妹都市の由縁である秋月・上杉両家の関係や歴史、先人（秋月種茂公・上杉鷹山・石井十次先生）の偉業を学び、故郷を愛する心（郷土愛）を育てることを目指しています。

8月6日～7日

朝倉市・高鍋町スポーツ少年団 姉妹都市交流事業



高鍋町スポーツ少年団



朝倉の三連水車で楽しそう遊ぶ高鍋の子もたち

この事業は、高鍋町と朝倉市の小学生（スポーツ少年団員）が、スポーツや野外活動を通じて融和を深め、姉妹都市の歴史的背景や地域文化の特性を学び、将来のリーダーとして広い視野に立った青少年の育成を目指しています。

7月28日

高鍋西中学校・秋月中学校（朝倉市）交流



西中学校の行事であるリーダー研修に秋月中学校生徒会の皆さんが参加し、意見交換を行いました。その後、カレー作りや食事を通しての交流も行いました。

6月28日～7月1日

高鍋東中学校、秋月を修学旅行で訪問



東中学校二年生は、修学旅行で朝倉市秋月を訪問しました。現地では、ボランティアガイドの皆さんが案内をしてくださり、とても勉強になりました。

Information

宝くじふるさとワクワク劇場inたかなべ

- ▲とき 10月16日(日) 午後2時から
- ▲ところ 高鍋町中央公民館ホール
- ▲内容 第1部：お笑いオンステージ  
第2部：トーク  
第3部：ほのぼの Comedy 劇場

※吉本新喜劇のメンバーと一緒に大いに笑ってみませんか。入場料金（宝くじの助成による特別料金）など詳しくは、お知らせたかなべをご覧になるか、高鍋町 教育委員会社会教育課（TEL：23-3326）へ。

高鍋町美術館特別展

「内田正泰展～四季の詩 貼り絵原画の世界～」

日本の美しい情景を貼り絵で描いた作品が広がり、観る人の郷愁を呼び起こす展覧会

▲とき 10月29日(土)～11月27日(日)

※詳しくは、高鍋町美術館(TEL:23-8887)へ。



キラリ輝く



今夏、大活躍の高鍋の子どもたち

今年も猛暑が続く中、高鍋の子どもたちは、部活動やボランティア活動、地域の活動などに一生懸命に取り組まれました。そんな中、全国レベルでの活躍をした皆さんを紹介いたします。

平成23年度 全国高校総体 陸上競技(400m) 優勝!!



山本 大介さん(高3) (蚊口中)

高鍋東中学校出身で、現在は、宮崎北高校陸上部に所属。中学校までは野球部で汗を流す。2年前に世界ユースに出場した榎木勝吾さん(現中京大学)は東中野球部の先輩。「総体前のレースを榎木さんと一緒に走ったことで得るのが大きく、感謝しています」と温和人柄を思わせる優しい笑顔を見せた。

「次は、まず、10月の国体で優勝することです」

と力強く話す山本大介さん(左)と優勝トロフィーを持って微笑む町長



Takanabe's Hero&Heroine

日清食品カップ 全国小学生陸上競技交流大会出場! (8月27日：横浜市で開催)

桑野 拓海 さん (東町)

高鍋東小学校5年生で、高鍋陸上スポーツ少年団に所属。県選考会で優勝。種目は100m。将来の目標はずばり「世界一！」



「タイムが良くなるとうれしい」

平成23年度 第13回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会5位入賞 (県新記録・県高校新記録も達成)

永迫 万莉菜 さん

高鍋農業高校3年生。部活動で上記の成績を残したほか、青少年の主張発表会では、町および郡の代表として県大会へ。見事優秀賞を受賞。



「地域交流ができる体験型観光農園をしたい」



宮崎県勢初! 全国中学校ラグビーフットボール大会出場! (9月17日～19日：茨城県水戸市で開催)

高鍋西中学校 ラグビー部

6月の宮崎県中学校体育大会で四連覇を果たす。部員総数は37人。顧問は甲斐浩記先生、主将は3年の井上優樹さん。全国大会の抱負について、主将の井上さんが「集中して自分たちの力を出し全国制覇したい」と話せば、顧問の甲斐先生は「生徒の目標が全国制覇。私は、それが叶えられるよう精いっぱいサポートしたい」とがっちりスクラム。

※チームワーク抜群の西中ラグビー部の健闘を祈ります!

Takanabe's Hero&Heroine

「第五十八回 全国高校放送コンテスト」出場!  
▲テレビドキュメント ▲テレビドラマ ▲ラジオドラマ ▲研究発表の各部門

「高鍋農業高校」第六十二回 日本学校農業クラブ全国大会 長崎大会 (十月に開催予定) 出場!  
▲農業鑑定競技  
外山 彰人さん・金泉 龍生さん・高橋 良子さん・久保 智弘さん



高鍋高校ホッケー部の皆さん

「平成二十三年 全国高校総体」出場!  
▲ホッケー競技  
・一回戦勝利  
・二回戦惜敗

「高鍋」の名が 全国に!



さまざまな思いを  
胸にいだきながら  
～口蹄疫終息宣言から1年～



①玉串奉奠をする畜産農家代表の大面準一さん  
②献花を行う畜産農家の皆さんなど  
③家畜が家族同然だったのだから。埋却地にひっそりと供えられたお花や果物を見ていると胸が締め付けられる

8月31日、畜魂慰霊祭が中尾の埋却地で行われま  
した。  
1年前という、終息宣言がなされたとはいえ、町  
全体が元気をなくしてしまっている頃でした。  
あれから1年たった現在、畜産業はもちろん、商工  
業などさまざまな職種の皆さんの努力により、高鍋の  
まちも徐々に元気を取り戻し始めたところです。  
慰霊祭に参加した金崎均さん（牛の肥育農家：現在  
は57頭飼育）は、この1年間を振り返って次のよう  
に話してくれました。  
「口蹄疫も大変だったが、東日本大震災で被害をう  
けた畜産農家のことを考えると辛い。私たちは、牛は  
失ったが、牛舎はある。再開もできた。牛を飼って健  
康で暮らしていけることは幸せだ」と。  
金崎さんの前向きなコメントは、私たち町民に力強  
さと勇気を与えてくれるのではないのでしょうか。

「介護予防事業のすすめ」

～家族や地域の人たちとこれからも～



健康福祉課  
介護・高齢者福祉係  
星居 哲昭 主任主事

高鍋町では、高齢者が介護状態  
になることを出来るだけ防ごうと、  
介護予防事業を行っています。  
地域で開催する「なじみの会」  
や老人福祉館別館での「はつらつ  
教室」、高鍋温泉めいりんの湯で  
開催する「楽々教室」などで、  
楽々教室は申込不要で、毎月第  
二金曜日の午後一時過ぎからです。  
皆さんも気軽に参加してみませ  
んか。

- ◆介護予防事業のお申し込み  
地域包括支援センター（Tel：32-6600）
- ◆介護予防事業のお問い合わせ  
健康福祉課 介護・高齢者福祉係  
（Tel：26-2008）

地域密着型事業「なじみの会」



都道府県ビンゴで「頭の体操」を楽しむ  
上江団地なじみの会の皆さん

参加した蛸原富士子さんは「近所の方とコミュニケ  
ーションが取れるうえに運動もできるので、とても楽  
しいですよ」、担当する社会福祉協議会の西村拓さん  
は「散歩がてら来れるこの会が町内に10地区ありま  
す。お会いできるのを楽しみにしています」と呼びか  
けました。

【取材を終えて】  
今回の取材でお会いした皆さんの元  
気な笑顔に癒され、こちらまで元気を  
いただきました。  
「何も難しいことはしちやらん。好  
きなことをしちよるだけ」  
「じっとしちよらんで体を動かすこと  
が好き」  
と、簡単そうに話してくれた皆さん。  
正直「すごい！」と思ひ、自然とその言葉  
を口に出していました。  
歳を重ねていくと体が痛んだり、重  
かったりして、なかなか外に出るのも億  
劫になることが多いでしょう。  
でも、気負わないでください。出来る  
ときだけ、そう、一回でもいいから  
ちよつと外に出てみませんか。その一歩  
が、元気に、そして素敵に歳を重ねる第  
一步になるような気がします。

高鍋町之長寿番付（平成23年9月1日現在）

小結 100歳			関脇 101歳		大関 103歳			横綱 105歳		氏名	性別
黒木常雄	平原総子	原亥一	上野タカ子	宮中スエノ	森チサヲ	森之本ミネ	箕輪従子	日高リエ	伊藤政美		
男	女	男	女	女	女	女	女	女	男		性別

高鍋町には、上の番付表のとおり100歳以上の人生の先輩  
が10人もいます。



高鍋の横綱  
伊藤 政美さん

とってもいい笑顔を見せてくれた  
のは、高鍋町の横綱。  
耳が少し不自由になったという横  
綱ですが、足腰は元気そのもの。  
95歳までは四半的、100歳ま  
ではグラウンドゴルフや趣味の木工  
品作成をしていたそう。  
元気の秘訣を尋ねると「よだきが  
らんこと。寝るときは今でも二階の  
寝室まで歩いて上がりますよ」と話  
してくれました♪

7月で100歳になりました！



平原 総子さん

総子さんは、県勢初の甲子園  
出場となった高鍋高校野球部の  
故平原美夫監督の奥様。  
町長も高校時代、監督の家で  
総子さんに食事などでお世話に  
なったとのこと。そんな総子  
さんの元気の秘訣は、師範を持  
つ生け花を楽しむことだそう♪

家族みんなの誕生日をしっかり  
覚えていたという常雄さん。食事は普通食で、特にお刺身や卵焼き  
が好物とのこと。  
そんな常雄さんの元気の秘訣  
は、新聞を毎日読み、毎日自宅の  
トレーニングマシンで足を動か  
していることだそう♪



黒木 常雄さん

9月19日  
敬老の日

素敵に歳を重ねて  
みませんか



高鍋町の六十五歳以上人口は、五、四六三人（九月一日現在）。  
この数字は、高鍋町の総人口の約二十五%で、四人に一人が高齢者と  
いうことになりました。  
このような超高齢社会を迎えた高鍋町の介護給付費は、高齢者人口の増加に伴って年々  
増加しており、平成二十二年度は約一〇億八六〇万円にもなっています。  
このような状況の中、町民の皆さんに紹介したい「元気な高齢者」が高鍋町にはたくさ  
んいます。今回は、そのうちの数人にお話を伺いましたので、元気な、そして素敵な歳の  
重ね方について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。



「自由コース」「完泳コース」「ウォーキングコー  
ス」の3つがあり、自分の体調に合わせて自由に健康  
づくりを楽しめる場所、高鍋町健康づくりセンター  
プール。  
歳を重ねたからこそ、一緒に水を楽しみませんか。  
詳しくは、健康づくりセンタープール（Tel：23-  
2335）へお気軽にどうぞ。

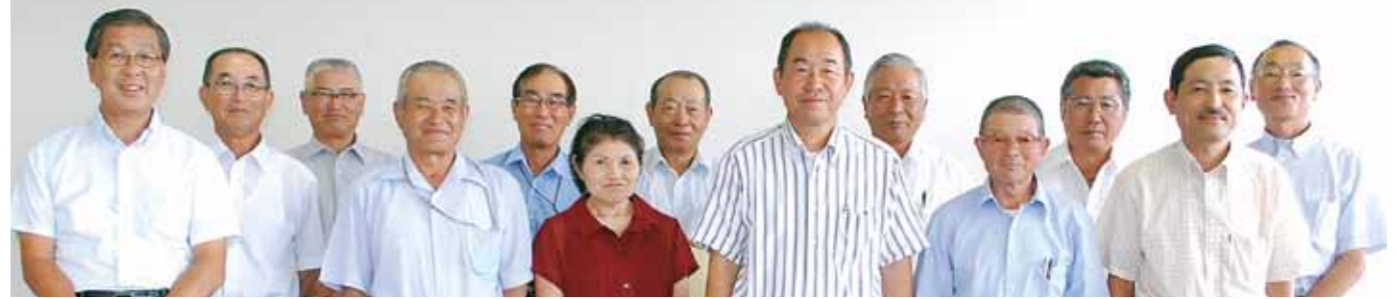


ほとんど毎日、プールを利用し  
ているという町内在住の渡邊ヨ  
イさん（81歳）。「ここに来ると  
若返る気がするし、元気になるの  
で、夫の介護にもリフレッシュし  
た気持ちであたれます」と笑顔で  
話してくれました。



# 新しい農業委員が決まりました

任期：平成23年7月20日～  
平成26年7月19日



(左から) 後列：大谷 昇、森 清一、坂本 幸、加藤 重喜、谷口 良孝、宇治橋 俊美、永友 清太  
前列：水町 茂、大面 準一、木浦 由子、坂本 弘志 副会長、渡瀬 俊弘 会長、金崎 均

## 農業委員会の仕事とは？

- ◆農地の賃借・売買・転用について
- ◆地域農業と優良農地の保全確保について
- ◆農業・農家の相談について
- ◆農地利用集積・経営改善の支援について
- ◆農業者年金について

ご相談は農業委員または  
農業委員会事務局  
(☎26-2019)へ  
お気軽にどうぞ。

## 新しいALTの先生紹介

氏名 Hannah Robertson  
(ハナ ロバートソン)  
出身 イギリス 年齢 25歳  
赴任校 町内小中学校・町立保育園  
ALTを志望した理由

日本の子どもたちに英語を教え、イギリスの文化も紹介したいから。また東京の大学に1年留学していたが、日本の文化や生活をもっと自分の目で見てみたかったから。

※玄米茶とおまんじゅうの話をここにこしながら話してくれたハナ。日本語が上手なので、出会ったら気軽に話しかけてみてくださいね♪



好きな日本の食べ物  
は「和菓子」です！

氏名 Bonita Khan  
(ボニータ カーン)  
出身 カナダ 年齢 29歳  
赴任校 宮崎県立高鍋高等学校  
ALTを志望した理由

カナダでは小学校の教師をしていて、子どもに教えることが好きだということ、また、5歳の時に日本に来たこともあり、日本文化にとっても興味があり、その勉強をしたかったから。

※読書やヨガ、水泳が趣味だと話すボニータ。もしかしたら健康づくりセンターのプールあたりで会えるかもしれませんよ♪



好きな日本の食べ物  
は「ギョウザ」です！

※ALT…外国語指導助手

## 高鍋町東北地方太平洋沖地震義援金 第一次配分報告

3月11日の東北地方太平洋沖地震発生を受け、高鍋町では、昨年の口蹄疫での温かいご支援に報いるためにも、町民一体となり被災地の支援を行っていただくことを目的に義援金を募集しています。

3月25日の募集開始から3カ月を経過したことから、次の通り第一次配分を行いましたので、ご報告いたします。

### ▲配分先・額

- ①岩手・宮城・福島3県へ 各100万円
- ②山形県米沢市(姉妹都市)へ 300万円

### ▲義援金総額

7,069,102円(9月1日現在)

### ◆お問い合わせ

政策推進課 TEL: 26-2018



## せいぼサークル ご案内

毎週 木曜日 10時から(子育て支援)

親子で、園庭や教室でいっしょに遊ばませんか。子育てで悩んでいる方の育児相談(無料)をしています。満2歳より就学前のお子様をお預かりいたします。保育時間 7:30~18:00 (毎日午前中、園庭を解放しています。)

高鍋カトリック聖母幼稚園  
場所 まるき屋・ジョイアス横 電話 23-1500

※この欄は広告です。お問い合わせは、広告主へ。

## 防災意識を高めよう

### ◎海抜表示板設置

高鍋町では、東日本大震災を教訓として、沿岸部地域や河川流域、幹線道路等の電柱(町内五十カ所)に海抜表示板を設置しました。これらの設置は津波発生時の避難の参考として、また、平常時から津波災害への注意喚起を目的としています。



### ◎防災意識高揚のために

九月四日、高鍋町は地震および大規模津波の災害を想定した防災訓練を行いました。内容は、町内十三の自治公民館の皆さんが参加した避難訓練、川田自主防災会による初期消火訓練、炊き出し訓練、関係機関との連携・協力体制を図るための各種訓練等で、多くの参観者が訪れました。



車に閉じ込められた人を救出し、救急搬送するという訓練。車の上部を開けての迅速な救出活動に参観者から拍手が起った



### ◎みんなの応援を力に

東中学校は六月に、学校支援事業を利用して口蹄疫で被害を受けた養豚農家の野津手重人さんを講師とした講演会を行いました。講演を聴いた生徒は、野津手さんを励まそうと応援旗を作成し、その旗は現在、野津手畜産事務所に掲げられているそうです。



旗には「野津手さんから挑戦することの大事さを学びました」などの真剣で前向きなコメントがぎっしり

### ◎日本文化を学びたい

七月に、NPO法人からも交流実行委員会による国際交流事業が、高鍋町内の二つのホスト家庭の協力を得て行われ、国際理解促進と地域活性化が図られました。



竹鳩の坂本弘志さん宅で地域の皆さんと交流会の準備をする香港の大学生 楊詠児さん(右)

### ◎大活躍の高鍋町消防団!

七月十六日、東児湯消防組合で第四十九回東児湯支部消防操法大会が行われました。雨の町大会とは違い、晴天の中での大会で、町代表の各部隊は見事な成績を収めました。



- ☆小型ポンプ積載車の部 優勝:高鍋町消防団第5部
- ☆ポンプ自動車の部 優勝:高鍋町消防団第4部
- ☆小型ポンプの部 第2位:高鍋町消防団第10部

### ◎今年からドッジビーで対決

七月三十一日、総合体育館で高鍋町子ども会スポーツ大会が行われました。ここで町代表となった十地区と蚊口地区は、郡大会でも見事優勝を勝ち取り、はつらつ元気な高鍋っ子を見せてくれました。



異年齢の子どもたちが一つになってチームプレーを楽しんだ

### ◎やっぱり海は楽しい!

夏休みの期間中、高鍋海水浴場では夏ならではのさまざまなイベントが行われ、多くの人で賑わいました。



コーラ早飲み大会と一緒に開催されたビーチフラッグ大会。柔らかな砂の上に思いっきり滑り込む参加者の表情はとて楽しそう

### ◎ようこそ夏季キャンプへ

八月九日から五日間、京都学園大学準硬式野球部の皆さんが夏季キャンプのため、初めて高鍋を訪れました。高矢主将は「高鍋は京都と違い、からっとした暑さ。ここでは次のリーグ戦に向け、チームワーク向上を目指し、頑張ります」と力強く話しました。



高鍋商工会議所の差し入れであるアツアツ餃子を球場でおいしそうに食べる選手の皆さん

### ◎高鍋をテレビで紹介

八月二十七日、MRT感謝祭ご当地グルメコンテストが宮崎市で行われました。高鍋町は「ロールキャベツ」で参戦。残念ながら優勝は逃しましたが、高鍋大使くんと共に県内の皆さんに高鍋の魅力を元気にPRしてきました。



1個1個大事に巻きこむ作業

エントリーグルメ「ロールキャベツ」のレシピを、高鍋町健康づくりセンターおよび役場政策推進課で配布中!!



# わが町の宝物

みんな元気に育ってね。

このコーナーは、9・10カ月児健診に  
来たお子さんを紹介しています。

今回は、7月・8月の健診に来た元気なちびっこたちです！



のべつ こはく  
野別 虎珀 ちゃん



くろぎ そら  
黒木 昊 ちゃん



よこお まさし  
横尾 将志 ちゃん



おだ ゆづき  
小田 柚月 ちゃん



なかの ゆい  
中野 夢依 ちゃん



くろぎ とうま  
黒木 杜真 ちゃん



ふなこし えいと  
船越 瑛斗 ちゃん



みやうち はなえ  
宮内 英恵 ちゃん



いけだ ゆうき  
池田 有輝 ちゃん



のまぐち さえ  
野間口 咲瑛ちゃん



ながとも はたと  
長友 颯杜 ちゃん



もりかわ しゅうと  
森川 楓心 ちゃん



たけだ あいる  
竹下 愛琉 ちゃん



ふるかわ たいち  
古川 太一 ちゃん



やの はると  
矢野 陽大 ちゃん



かきはら さな  
柿原 咲菜 ちゃん



かつかわ けいすけ  
勝川 敬介 ちゃん



いおき まさず  
井置 舞鈴 ちゃん



いなごだ ゆずあ  
稲子田 柚綺 ちゃん



いなだ ことみ  
稲田 琴美 ちゃん



はしもと ここ  
橋本 仁子 ちゃん



かわの こうだい  
河野 晃大 ちゃん



あい れんせい  
甲斐 蓮聖 ちゃん



いけだ いおり  
池田 伊織 ちゃん



ながとも ゆな  
永友 優奈 ちゃん



こまき かなと  
小牧 奏翔 ちゃん



こが ひろき  
古賀 広輝 ちゃん



にしもと  
藤本 マリアちゃん



まつだ はると  
松田 隼人 ちゃん

## 広報たかなべ 2011. 9. 16 NO. 372

編集・発行／宮崎県高鍋町  
〒884 - 8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437  
政策推進課／☎0983 - 26 - 2003  
<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp>  
※「広報たかなべ」は町ホームページでもご覧になれます。



TAKANABE TOWN

### 人口と世帯数(9月1日現在・前月比)

人口	21,641人	(+34)
男性	10,312人	(+10)
女性	11,329人	(+24)
世帯数	9,035世帯	(+ 4)



激動の時代(とき)、  
今こそ故郷の英知を集めて  
明倫堂の精神文化に灯りを灯す  
**第十一回 高鍋城灯籠まつり**  
▲とき 十月八日(土) ～ 九日  
▲ところ 舞鶴公園周辺